



ニュースレター



春は入学式や入園式、新学年の始まりなど、新たなスタートの季節ですね。子どもたちが元気いっぱいすごせるようにお子さんの体調の変化に十分注意しましょう。今回は、腹痛のお話です。

腹痛は、発熱に続いて子どもに多い症状の一つです。子どもが急に、しかも激しくお腹を痛がる時の原因として一番多いのは、『便秘や腸のガス・胃腸炎・風邪』が関係した痛みですが、なかには『腸重積』や『虫垂炎』など重大な病気の時もあります。保護者にとっては、お腹の中の様子は、外から見ていてもよく分からず、また体温のように測ることもできないので、戸惑うことが多く不安になると思います。

また赤ちゃんは痛くても自分で「お腹が痛い」とは言えず、泣くことしかできませんし、幼児は自分の症状をうまく言えない時に、「お腹が痛い」と表現することもあります。

ですから、落ち着いて様子を観察し、本当にお腹が痛いのか、それ以外の症状なのかを見きわめることが大切です。夜間受診に迷うときは、下記のフローチャートを参考にしましょう。



お腹が痛い



まずは、子どもの様子をよく観察しましょう！



- ▶ 姿勢は？ ・歩くことはできるか ・座ることはできるか
・痛くてうすくまっているか？
- ▶ お腹を触ると？ ・パンパンに膨らんでいないか ・触ると嫌がるか、表情は？
・股の付け根、陰のうの腫れや色は？
- ▶ うんちと食事の状況は？ ・最後にうんちが出たのは？その時のうんちの性状と色は？
・子どものうんちのペースは？(毎日or数日に1回?)
・食事はいつも通り食べることはできた？
- ▶ 痛みの間隔は？ ・間欠的？それとも持続的？どれくらい続いている？

子どもの様子で

- ①お腹がパンパンに膨らんでいる
- ②股の付け根や陰のうが腫れている、色が変わっている
- ③歩けない、眠れないほどの痛み ④だんだん痛みが強くなる
- ⑤2時間以上続く痛み ⑥痛みを繰り返すうちに元気がなくなる
- ⑦血便が出る ⑧顔色が悪い ⑨激しく泣く、普段と比べて、機嫌が悪い
- ⑩泣いたり、泣きやんだりを周期的に繰り返す
- ⑪出血斑(膨らみのない、暗紫色の発疹)ができる

ない

①か②がある

③～⑪のうち1つでもある

・比較的元気で気を紛らわせるとお腹の痛みを忘れる様な時

救急車

夜間救急を受診



自宅で様子を見て翌日かかりつけ医へ



こどもの腹痛、こんな時どうすればいいの？

- ▶ まずは排便を促してみましょ。
- ▶ 腹痛が軽いときは、無理に食べさせないで水分を少しずつ飲ませて様子を見ましょ。
- ▶ お腹に「の」の字を描くようにやさしくマッサージしてあげると、少し楽になることがあります。
- ▶ お腹に炎症(虫垂炎、胃腸炎)があるときには、炎症を悪化させる可能性があるため、カイロや湯たんぽなどでおなかを暖めない方が良くもあります。
- ▶ お風呂は強い腹痛でなければ大丈夫です。



迷う場合は受診ましょ

電話相談をご利用ください

◆ 阪神北広域こども急病センターでは、看護師による電話相談を行っています。

☎ 電話相談 ☎

072-770-9981



☎ 相談受付時間 ☎

平日	午後 8:00 ~ 翌朝 6:30
土曜日	午後 3:00 ~ 翌朝 6:30
日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前 9:00 ~ 翌朝 6:30

こどもの急病でお困りのときは、お気軽にご相談ください。

診療のご案内

診療科目	小児科 (15歳以下、中学生まで) ※原則、内科の診療となります	
診療受付時間	平日	午後 7:30 ~ 翌朝 6:30 診察開始は午後 8時から
	土曜日	午後 2:30 ~ 翌朝 6:30 診察開始は午後 3時から
	日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前 8:30 ~ 翌朝 6:30 診察開始は午前 9時から

道路地図



阪神北広域こども急病センター
〒664-0015 伊丹市昆陽池 2 丁目 10 番地
<http://www.hanshink-kodomoqq.jp/>

TEL: 072-770-9988
FAX: 072-770-9905